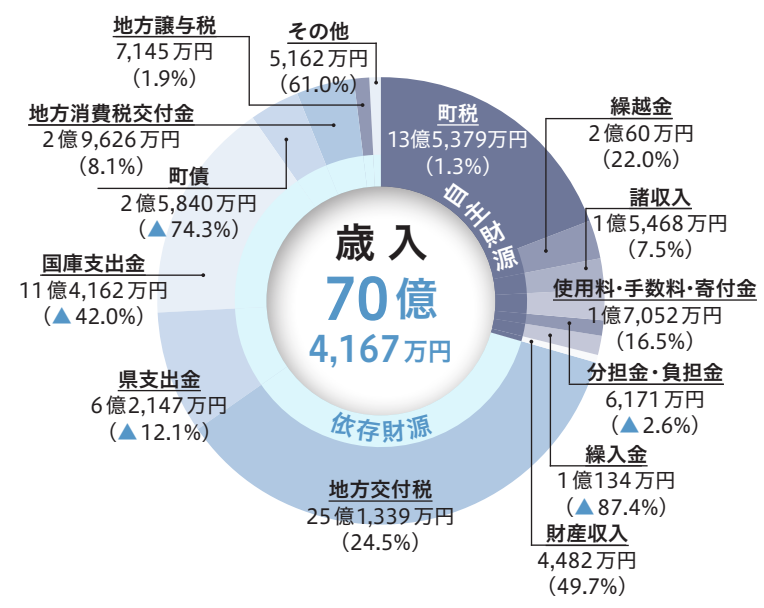
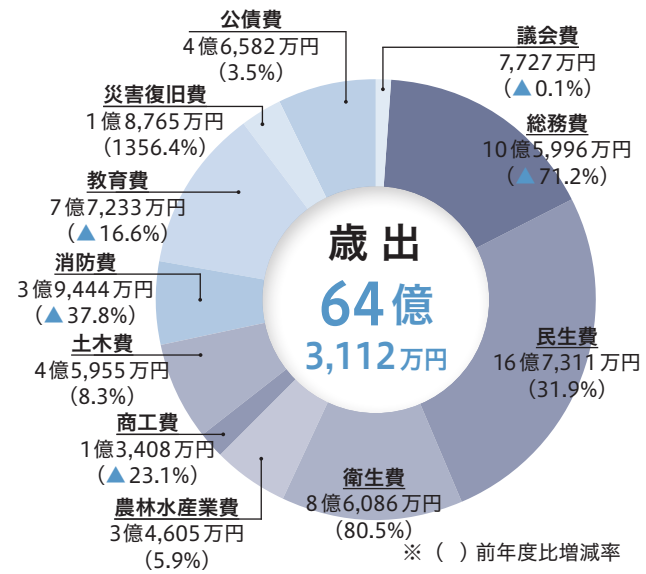


歳出の特徴

新庁舎整備事業の完了などにより、**歳出総額は減少しました。**

子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付事業など民生費の増加、令和3年2月の本県沖地震により被災した昭和大橋や地域交流センターなど災害復旧費の増加、災害廃棄物処理事業（被災家屋公費解体）など衛生費の増加の一方で、庁舎建設事業や特別定額給付金事業の完了など総務費の大幅な減少により歳出総額は減少しました。



歳入の特徴

地方交付税は、**25億1,339万円**となり、**前年度比4億9,432万円増加**しました。

地方交付税のうち普通交付税は、地域デジタル社会推進費の新設や、令和2～3年度における国税収入が増えたことにより増加。特別交付税は、令和3年2月の本県沖地震による災害廃棄物処理事業などへ措置されたことにより増加。国庫支出金は、特別定額給付金給付事業の完了により、町債および繰入金（庁舎建設基金）は、庁舎建設事業の完了により減少しました。

性質別歳出内訳 ※（ ）前年度比増減率

40.6% (13.7%)	義務的経費 26億1,015万円 人件費 13億4,329万円 扶助費※1 7億9,935万円 公債費 4億6,751万円 ※1 児童・高齢者・障がい者・生活困窮者を福祉の面で支えるお金
14.2% (▲12.8%)	投資的経費 9億1,462万円 普通建設事業費 3億1,495万円 災害復旧事業費 5億9,967万円
45.2% (▲0.9%)	一般的経費 29億635万円 物件費 11億3,189万円 繰出金※2 7億2,875万円 補助費など 7億2,644万円 その他 3億1,927万円 ※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額

費目	決算額	対前年度増減額
民生費	147,801円	36,971円
総務費	93,636円	▲227,819円
衛生費	76,048円	34,373円
教育費	68,227円	▲12,681円
公債費	41,150円	1,815円
土木費	40,597円	3,508円
消防費	34,844円	▲20,545円
農林水産業費	30,570円	2,018円
災害復旧費	16,577円	15,451円
商工費	11,844円	▲3,399円
議会費	6,826円	66円
諸支出金	0円	0円
合計	568,120円	▲170,242円
町民1人あたりの町税負担額	119,593円	2,763円

※令和4年3月31日現在の人口11,320人をもとに算出

令和3年度 桑折町の

決算

決算とは、皆さんが納付した税金や、国や県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのような目的で使ったかを明らかにする「町の家計簿」のようなもので、町の1年間のおゆみ・記録となります。

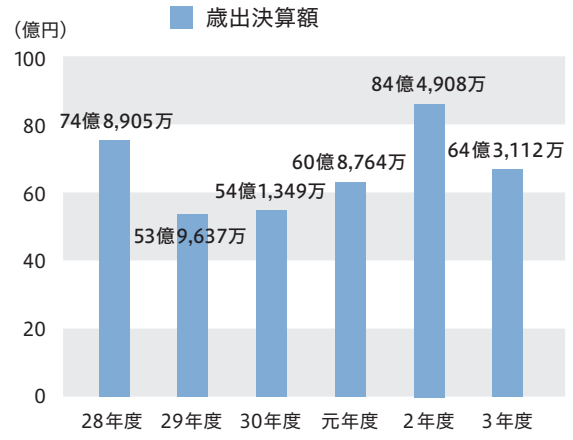
令和3年度は、コロナ禍を踏まえ、感染拡大防止と経済再生の両立を図りながら、地域社会・経済の再構築に向けた取り組みをより一層強化するとともに、総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」の最終年次として、令和4年度から始まる新しい総合計画に沿ったまちづくりへ円滑に移行するため、「健康と福祉の町」「危機管理に備える町」など6つの重点項目に予算を優先配分し、「住み続けたいまち 住み続けたいまち桑折」の実現を目指して各種事業を実施しました。その結果、歳入総額70億4,167万円（前年度比19.7%の減）、歳出総額64億3,112万円（前年度比23.9%の減）、歳入歳出差引額は、6億1,055万円となりました。このうち、やむを得ず翌年度繰越事業となった財源2,654万円を差し引いた5億8,401万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、2億9,500万円を財政調整基金に積み立て、残り2億8,901万円を翌年度へ繰り越しました。予算の執行にあたっては、事業の重点選択化と諸経費の節減・合理化を図り、国や県の補助金など特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

決算は黒字
令和3年度は、コロナ禍を踏まえ、感染拡大防止と経済再生の両立を図りながら、地域社会・経済の再構築に向けた取り組みをより一層強化するとともに、総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」の最終年次として、令和4年度から始まる新しい総合計画に沿ったまちづくりへ円滑に移行するため、「健康と福祉の町」「危機管理に備える町」など6つの重点項目に予算を優先配分し、「住み続けたいまち 住み続けたいまち桑折」の実現を目指して各種事業を実施しました。その結果、歳入総額70億4,167万円（前年度比19.7%の減）、歳出総額64億3,112万円（前年度比23.9%の減）、歳入歳出差引額は、6億1,055万円となりました。このうち、やむを得ず翌年度繰越事業となった財源2,654万円を差し引いた5億8,401万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、2億9,500万円を財政調整基金に積み立て、残り2億8,901万円を翌年度へ繰り越しました。

用語の説明

【一般会計】 福祉や教育、土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計	【繰入金】 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金
【自主財源】 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金	【地方交付税】 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金
【依存財源】 地方交付税など、国や県の意思によって額が決まられ、割り当てられるお金	【国庫・県支出金】 特定の目的のために、国や県から交付されるお金
【町税】 住民が町に納める税金	【町債】 国や銀行などからの借入金
	【公債費】 町債の返済に使うお金

歳出決算額の推移



特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	14億676万円	13億6,520万円	4,156万円
後期高齢者医療	1億7,489万円	1億7,291万円	198万円
介護保険	16億6,752万円	16億458万円	6,294万円
公共下水道事業	3億1,545万円	2億9,280万円	2,265万円

水道事業会計

会計区分	収入	支出	差引額
収益的収支	3億7,565万円	3億2,345万円	5,220万円
資本的収支	644万円	1億2,284万円	▲1億1,640万円

※資本的収支の不足額1億1,640万円は、留保資金および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

各種基金の残高 (令和3年度末)

会計区分	基金名	残高
一般会計	財政調整基金	11億2,433万円
	減債基金	1億3,375万円
	その他特定目的基金	7億8,653万円
	土地開発基金	1億2,021万円
	その他定額運用基金	7,574万円
合計		22億4,056万円
国民健康保険	国民健康保険基金	7,909万円
介護保険	介護給付費準備基金	1億1,915万円

公表

令和3年度 町財政の
「健全化判断比率」
「資金不足比率」
「経常収支比率」

実質公債費比率・将来負担比率ともに基準値内であり、
財政の健全性が保たれている 状況です。

(単位：%)

区分	元年度	2年度	3年度	
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	-	-	-
	連結実質赤字比率 (20.0)	-	-	-
	実質公債費比率 (25.0)	10.4	9.6	9.2
	将来負担比率 (350.0)	14.4	36.6	14.0
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	-	-	-
	公共下水道事業特別会計	-	-	-
経常収支比率	89.6	88.0	88.1	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないため、「-」で記載しています。()内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体(黄信号)として、自主的・計画的な改善が義務付けられます。

※1 標準財政規模…その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源(用途の特定がない財源)の規模【桑折町はおおむね39億円程度】

財政健全化法に基づく指標として、健全化判断比率と資金不足比率がありますが、そのうち、実質公債費比率と将来負担比率は基準値内であり、公営企業(水道・公共下水道事業)会計の資金不足比率も資金不足がないことから、財政の健全性が保たれています。実質公債費比率は、新庁舎建設による借りに伴い、元利償還金が増加したものの、国からの普通交付税額の増加が上回り、0.4ポイント減少しました。将来負担比率は、公債費へ充当可能な国庫支出金(災害公営住宅の家賃対策)の増加や、普通交付税の増加により22.6ポイント減少しました。

実質公債費比率

一般会計などが負担する地方債償還金(借金の返済)の標準財政規模※1に対する割合の3か年平均値。町が年間どのくらいを借金返済に充てているかを指標化したもの。家計に例えれば、借金返済額の年収に占める割合。

将来負担比率

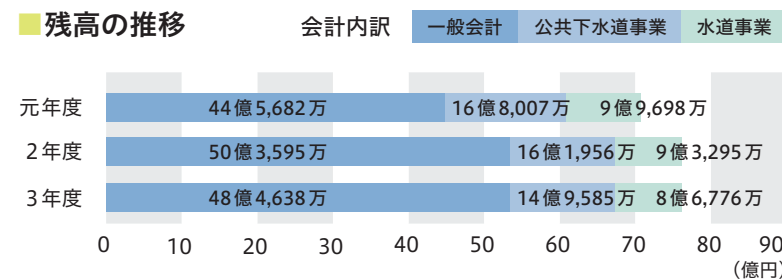
一般会計などが将来負担する実質的負債の標準財政規模※1に対する割合。将来負担見込額から基金などを控除したものが年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。家計に例えれば、借金残高の年収に占める割合。

経常収支比率

経常的経費(人件費や扶助費など)の経常的に収入される一般財源に対する割合。財政構造の弾力性を指標化。比率が低いほど新規事業に充てられる。家計に例えれば、生活費など固定費の給料に占める割合。3年度県市町村平均は85.3%。

町債の状況

町債残高は、実質公債費比率と将来負担比率に大きく関わってきます。右記のグラフは、過去3年間の各会計の推移です。



令和3年度末 町債などの残高

会計区分	2年度末残高(A)	3年度借入額(B)	3年度償還元金(C)	3年度末残高(A)+(B)-(C)	
町債	一般会計	50億3,595万円	2億5,840万円	4億4,797万円	48億4,638万円
	公共下水道事業特別会計	16億1,956万円	3,790万円	1億6,162万円	14億9,585万円
企業債	水道事業会計	9億3,295万円	-	6,518万円	8億6,776万円

令和3年度

主な使いみち

「献上桃の郷こおり創生プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしいまちづくりに取り組みました。重点プロジェクトと基本構想別に、主な事業を紹介します。

重点プロジェクト (単位: 万円)	安全安心で住みやすい 生活環境の構築
質の高い桃生産に向けた農家支援	3,276
献上桃の郷こおりシティプロモーション事業	477
観光誘客プロモーション事業	543
伊達桑折IC周辺の土地利用検討と企業誘致	80
第28回全国山城サミット桑折大会	1,178
万正寺の大力ヤ周辺整備事業	1,741
旧伊達郡役所周辺整備事業	2,055
魅力的で活力ある 地域社会の創生	
農林業振興(有害鳥獣対策事業、営農再開支援事業、ふくしま森林再生事業など)	14,222
商工業振興(商店街活性化推進事業、桑折町商工業振興事業など)	650
観光交流(こおりうまいものフェス事業、「ふくしまプライド。」販売力強化支援事業など)	2,907
都市緑化と景観(公園・緑地維持管理事業、桑折地区かわまちづくり計画事業)	1,896
歴史まちづくり(史跡桑折西山城跡周辺整備事業)	298
移住・定住(移住定住PR促進事業、若者定住促進事業、地域おこし協力隊事業など)	2,329
健やかで希望に満ちた 暮らしの確立	
結婚・子育て支援(ネウボラ事業、出会い結婚支援事業、子ども医療費助成事業など)	9,836
健康と医療(こおり健康祭、各種がん健診事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施など)	9,035
地域福祉(社会福祉協議会事業補助金交付事業、障がい者福祉扶助費など)	30,990
志高い人材を育む 学びの醸成	
乳幼児保育と教育(保育所管理運営事業、幼稚園管理運営業務、放課後児童健全育成事業など)	24,114
小中学校教育(ICT教育推進事業、桑折学習塾の開催、学校給食の保護者負担軽減など)	10,573
生涯学習(公民館事業、図書活動事業、青少年育成事業など)	1,105
生涯スポーツ(スポーツ・健康講演会事業、運動教室、町民体育館照明等更新)	240
安全安心で住みやすい 生活環境の構築	
消防・防災(消防団活動費、防災力強化事業、土のう倉庫設置事業など)	24,682
生活安全(交通安全対策事業、防犯対策事業、消費者行政対策推進事業)	1,093
環境衛生(仮置場解体等事業、ごみ再資源化活動奨励事業、生ごみ処理容器購入補助事業など)	20,629
環境共生(桑折町再生可能エネルギー推進会議補助金、住宅用再生可能エネルギー設備設置補助事業)	293
総合交通網(町道新設改良事業、町道等維持管理事業、橋梁長寿命化事業など)	7,840
居住環境(空家等対策事業、安全安心耐震促進事業、合併処理浄化槽設置整備補助事業など)	864
水道(水道施設整備事業補助金、簡易水道組合調査業務)	407
計画推進に向けた取り組み	
住民自治の活性化(住民自治協議会運営交付金交付事業、桑折町表彰式)	296
行政機能の強化(証明書等コンビニ交付サービス、マイナンバーカード交付推進業務、新総合計画策定業務など)	5,445
健全な財政運営(ふるさと納税関連事業、町税等のコンビニ収納・口座振替利用促進)	5,288
広報・広聴の充実(広報こおり発行・町ホームページ運用管理業務、町勢要覧作成)	606
新型コロナウイルス感染症対策	
感染拡大防止対策事業(ワクチン接種事業、感染症予防対策事業、学校保健特別対策事業など)	12,026
地域経済活性化対策事業(商工業活力再生コロナ対策事業、GoToEatこおり食事券発行事業、事業継続支援金給付事業など)	2,580
町民生活支援事業(「こおり応援商品券」「こおりプレミアム商品券」発行事業、「桑折エールプロジェクト」こおり新時代・町民の元気発信事業)	3,221

令和4年度

一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は56億5,100万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、69億7,755万円となりました。

予算補正の主なもの

▶災害等廃棄物処理(公費解体)事業	5億4,401万円
▶昭和大橋災害復旧事業	1億9,000万円
▶被災住宅(応急)修理支援事業	1億4,867万円
▶伊達崎小学校災害復旧事業	1億7,200万円